

尾瀬 大白沢クロウ沢～松嵩沢

田村

【日時】 2008年7月19日(土)～21日(月・祝)

【メンバー】L田辺(利)、中村、小川、田村

7/19(土)晴れ 「道の駅ゆのたに」に前泊、奥只見湖沿いの道は長く曲がりくねっていたが、それでも東北道経由よりは近かったようだ。砂子平に車を止め、渡しで対岸へ渡る。恐らく今日のような平水なら、そのまま渡渉しても大丈夫だっただろう。

しばらく踏み跡を迎れるという情報もあったが、数百mで自然と川に出てしまった。いちいち探すのも面倒なので、そのまま川沿いに進む。先行の釣り師が魚止沢出合先のゴルジュで竿を出し始めたので、巻いて追い抜く。キクラゲが豊富にあり、採りきれないくらい。もう1パーティーを追い越すと、我らが先頭になったようだ。タツボ沢の上で雪が出てくる。ゴルジュを右から巻くと池ノ沢出合。その先、時々ゴルジュや小滝を越えつつ進む。途中、巻きで利香さんが目を突くが、大事に至らず一安心。予定の天場には16時着。薪は豊富にあるし、天場すぐの釜では中村君が瞬時に尺近くを釣り上げる。虫も全くおらず、雨の降る気配もない。素晴らしい一夜を過ごした。



7/20(日)曇りのち雨 最初から小ゴルジュの巻きで始まる。雪渓が現れ、小川君は潜りたそうだったが、他の慎重派3人の意見で上に行く。これも難しくない。続いての幅広滝は、一段上がるところが水をかぶり、その上も外傾していやらしい感じだ。小川君にザイルを持って行ってもらう。大方の予想を裏切り、一番水の激しいところから登り、一同たまげる。その先は、次第に斜度が出てくる中、小滝を登ったり巻いたりが続く。下山ルートが未知であることを考えると最短距離を通ったほうが良かったかもしれないが、予定通り、景鶴山の北にある湿原を目指す。と、不意に斜度が緩くなった。目標の湿原が近いようだ。細かい沢が入り組んでいるが、勘で進む。やがて、ぼっかりとした湿原に出た。正直期待していなかったものだから、予想外の美しさのため息が出た。ワタスゲの白とアヤメの紫が基調だ。よく見るとハクサンチドリやリンドウもある。もし晴れていたら、そこで1時間は余分に過ごしただろう。でも、この先が長い。松嵩沢へのルートは、思案の結果、与作岳へ尾根を忠実に辿り、さらに山頂から東の尾根を下って行こうというもの。山頂からも沢に



下れるが陰しく、適当な天場が見つからずに暗くなる可能性が高いため、安全策を取った。

途中までは藪こぎも薄く、軽口をたたきながら進んでいた。稜線からは尾瀬ヶ原が見え、汗を流した僕らだけの特権が実にうれしかった。しかし、与作岳の山頂近くから、藪は急速に重くなってくる。気がつくつとブヨもたくさん群がってきた。おまけに雨も、ガスも。山頂はだだっ広く、はっきりわからない。尾根は広く複雑なので、だいたいの見当をつけ、ひたすら磁石を切って進む。方向としては間違っていないと思ったが、どれくらい下ったかの見当が掴みづらかったので、利香さんの持つ高度計は役に立った。地図上の台地に乗る手前に大きな沢型があり、ここから下る。結果的にこれは正解だったと思う。しばらく行くと水が出てきて、両脇に何とかツエルトを張れそうなスペース 2 か所を見つけた。斜めだが仕方ないだろう。ビショビショだったが、焚き火もできない。寒い。相変わらずブヨはワンワン飛んでいる。痒い。それはもう、ただただ不快だった。意地でビールを飲んだ。

7/21(月)晴れ 雨は遅くまで降っていたが、明け方には幸いあがっていた。やはり同じ沢でも天気次第で気分は全然違う。昨日のことが夢のようにも思えるが、利香さんの顔は見事に変形していた。



この松嵩沢は過去の記録が見つからず、それが不安でもありまた楽しみでもある。ちゃんと下まで出られるのかドキドキしながら下って行っていたが、心配には及ばず、まさに下り向きの沢だ。途中 1ヶ所だけ滝が続くところがあったが、そこも高巻きと少しの懸垂で突破できる。却ってアクセントとしていい感じだ。そこを過ぎると美しい森が続く。素晴らしい天場適地もあり、秋や新緑の時期にキャンプしに来るだけでも気持ちいいかもしれない。

そして最後の懸案、只見川の渡渉だ。多少増水しているのかもしれないが、どこでも渡れる感じではない。幸い、出会い付近にいた釣り師に話を聞くことができ、岸沿いの踏み跡をうまく使って下り、適当な渡渉点を見つけて渡ることができた。後は渋沢温泉小屋あたりで登山道に上がるだけだ。登山道は

地図よりも低い位置にあり、簡単に上がることができた。なお、ここの沢の石はいかにも温泉らしく真っ白になっているが、ちっとも温かくない。尾瀬の登山道だというのに誰と会うこともなく、静かなエンディングで車道まで下りた。

【行程】 7/19 砂子平(9:00)～魚止沢出合(9:50)～アサユウ沢出合C1(16:00)

7/20 C1(6:50)～湿原(14:00)～与作岳(16:00)～松嵩沢1680付近C2(17:30)

7/21 C2(7:30)～只見川出合(11:35)～登山道(12:40)～砂子平(14:25)

【地図】 1/25,000 平ヶ岳、尾瀬ヶ原、燧ヶ岳

【グレード】 3級下

クワウ沢 ~ 松山沢

2008.7.19~21

作田: 田村

